

第3章 オープンデータの導入を企画する

第1節 オープンデータの導入を企画する

1 取組の趣旨

オープンデータを導入するに当たり、特定のテーマに対する企画（以下「コンセプト」という。）を首長や幹部に説明し、理解を得ることやオープンデータの意義や目的を示した取り組む際の大まかな方針（以下「取組方針」という。）等を定めると円滑に取組を進められる。

2 主な取組内容

オープンデータ取組の企画段階では、主に次の取組を行うことが考えられる。

●オープンデータの導入を考える

- ・オープンデータに取り組むための全体のコンセプトを作成する
- ・首長や幹部にオープンデータの取組について説明する

●オープンデータの取組方針を考える

- ・オープンデータの意義や目的などを自団体の状況を踏まえて検討し定める

オープンデータの導入に当たり、首長や幹部へ説明する際、コンセプトを提示すると、理解を得やすい。

コンセプトは、全業務を対象にした全体像を大まかに示すことも考えられるが、テーマを絞って作成すると、職員の事務負担を軽減でき、オープンデータの取組も円滑に進みやすいと考えられる。テーマの絞り方は、総合計画等の上位計画の重点施策に取り上げられている分野、多くの住民の方々が関わりやすいテーマ等を取り上げると、理解を得やすくなると思われる。

また、特定のテーマを決めるのではなく、既にホームページに公開されているデータ等、公開することに対する抵抗感が少ないデータで取り組み、公開データ所管課が確認し、オープンデータとして扱う事例も見られる。このような場合は、事業のコンセプトを作成する必要は無いが、意義や目的等を示した取組方針を考えておくとよい。取組方針は、正式な内部規約のような文書として作成するケースや、ホームページ上でオープンデータに取り組むことを広く公開するために作成するケースがある。

まずは取り組みやすいデータから導入するというスモールスタートの考え方も、オープンデータの取組に着手するに当たっては有効な考え方である。

3 課題と対応例

オープンデータ取組の企画を行うに当たり、次の課題が想定される。

- オープンデータに取り組むため、何をどのように検討し企画すればよいか
- 理解を得るためオープンデータの効果やメリットは、どのように説明すればよいか
- オープンデータの取組方針・指針に地方公共団体が取り組む意義や目的などをどのように考えればよいか

上記の課題への対応例として、弘前市では住民の方々が関わりやすいテーマを対象として、オープンデータの取組を企画している。水戸市では、「水戸市第6次総合計画」の重点プロジェクトとなっている分野を対象に、オープンデータの取組を企画している。掛川市では、イベントから出されたアイデアから事業の検討を進めている。流山市では、特に取組方針等を策定せず、市長からの指示のもと、まずはデータを出すということをトライアル的に取り組んでいる。

取組方針の策定の例として、横浜市の取組方針と取りまとめている例、水戸市でホームページ上に取組の方向性等を掲載している例を紹介する。

事例) 市民に分かりやすいテーマを設定した企画の作成

対象となる課題 ●オープンデータに取り組むため、何をどのように検討し企画すればよいか
●理解を得るためオープンデータの効果やメリットは、どのように説明すればよいか

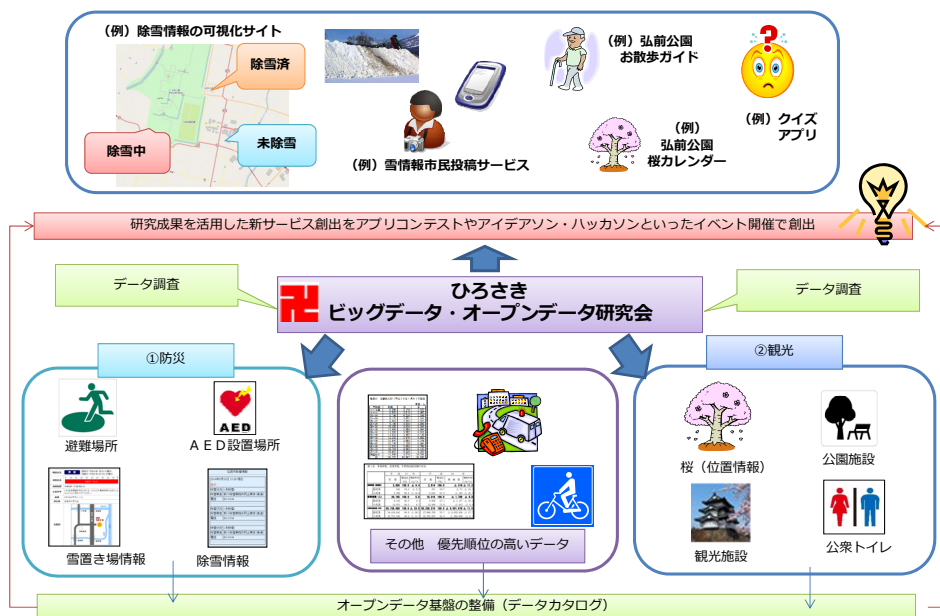
地方公共団体等 弘前市 人口 180,370人

【オープンデータに取り組む目的】

弘前市では、データに基づく戦略的な地域経営を推進していくに当たり、地域課題などへ効果的・効率的に施策等に反映させる方法の一つとして、ビッグデータ・オープンデータの活用・推進を検討し、取組を開始した。

【取組の概要】

市民の方々が関わりやすいテーマである「防災（雪）」「観光」を対象として、オープンデータ化推進を検討している。下記のとおり全体の概要の資料を作成し、オープンデータの研究成果が新サービスの創出につながるといったオープンデータに取り組むメリット等を関係者へ説明を行い、理解を得た。



出所：助成団体資料を基に作成

事例) 総合計画の重点プロジェクトと紐づけた企画の作成

対象となる課題	<ul style="list-style-type: none"> ●オープンデータに取り組むため、何をどのように検討し企画すればよいか ●理解を得るためオープンデータの効果やメリットは、どのように説明すればよいか
---------	--

地方公共団体等	水戸市	人口	273,053人
---------	-----	----	----------

【オープンデータに取り組む目的】

これまでの情報政策が、基幹システムのオープン化や防災対応といった、内向きの施策が多かったが、今後は市民に直結するような外向きの施策を展開する必要があるという市長の意向により、市民に直結する施策の一つとしてオープンデータの取組を開始した。

【取組の概要】

「水戸市第6次総合計画」の重点プロジェクトとして、「まちなかにぎわい・活力創造プロジェクト」「観光集客力アッププロジェクト」が謳われており、これと関連する分野をオープンデータ取組分野として取組を進めている。

対象プロジェクト	対象のデータ	ねらい
まちなかにぎわい・活力創造プロジェクト	バス停留所、駐車場、駐輪場、Wi-Fiフリースポット等の位置情報やイベント情報、また水戸市の統計情報や中心市街地の店舗情報等	人がまちに出ることをサポート
観光集客力アッププロジェクト	四季折々の花の開花時期と位置情報、史跡や文化財の情報や位置情報等	四季を通じて水戸を楽しむことをサポート

【苦労した点と対策】

総合計画の重点プロジェクトに係る施策は、オープンデータ以外にも様々な場面において特命的な業務を行っており、公開データ所管課からすると負荷が大きくなるという懸念がある。通常業務もある中で、更に増加するオープンデータに係る対応への抵抗感が大きくなることは十分に予想される。そのため、オープンデータ推進所管課がオープンデータ関連業務の中心となることとし、公開データ所管課の協力を得た。

出所：助成団体資料を基に作成

事例) イベントを活用したテーマ設定			
対象となる課題	●オープンデータに取り組むため、何をどのように検討し企画すればよいか		
地方公共団体等	掛川市	人口	118,094人
<p>【オープンデータに取り組む目的】</p> <p>掛川市が蓄積した情報を広く利用してもらえるように、営利・非営利を問わず二次利用可能なフォーマットでデータ提供を行い、市民生活の利便性向上やビジネスの効率化、新たなビジネス創出への寄与につなげるため、オープンデータの取組を開始した。</p> <p>【オープンデータ取組の契機】</p> <p>ハッカソンの結果が報告されるシンポジウムに参加した際、公共交通に関するアイデアが出されていたのを知り、市営バスに関する事業を企画し、担当課へ説明を行った。</p> <p>【取組の概要】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>①人的負荷増大を伴わない継続可能なオープンデータ配信システムの仕組み</p> <p>②公共情報をオープンデータで提供することによる地域課題への貢献効果の検証</p> </div> <p>上記①及び②を検証するため、地方公共団体の主要公共交通機関である市営バスにGPS機能を有する携帯小型端末と乗降者の個人を特定すること無く認識するカウンターを設置する。</p> <p>これにより、乗車状況をリアルタイムで把握かつデータ取得することが可能となると考えられ、団体内での議論が進まなかったオープンデータの効用について、それらの具体事例を示すことにより新たな議論の喚起につながることを期待される。</p> <p>また、利用者は時間に余裕があれば、混雑状況に応じて乗車するバスを変更するなど、混雑緩和と快適性確保の機会を提供できる。また、乗客数をカウントしない場合との比較による効用の検証、さらには効率的な経営を検討する上での有効なデータマイニングとしての活用も期待できる。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>出所：助成団体資料を基に作成</p>			

事例) データ公開のスタート

対象となる課題 ●オープンデータに取り組むため、何をどのように検討し企画すればよいか

地方公共団体等 流山市 人口 169,786人

【オープンデータ取組の契機】

流山市では、流山市議会と共にオープンデータを推進している。

市長がオープンデータのアプリコンテストの審査員となっていることもあり、オープンデータから実現したアプリを大切に、市民に活用してもらえるようにPR活動を進めることを指示している。このような市長からの指示をきっかけに、オープンデータ取組のトライアル（施行）を開始した。

【取組の概要】

オープンデータ推進所管課が市のホームページ等に既に掲載されているデータを対象に、Excel形式からCSV形式に変換するといった、パソコン等での加工・操作が円滑に行える形式に変換して公開している。

「流山100か所めぐり」とは
<p>流山の文化遺産や神社仏閣、名所旧跡などの中から選定された100か所です。個々の情報については、かなり要約しています。流山の歴史をもっと詳しく知りたい方は、流山市立博物館(電話:04-7159-3434)へ、ご相談ください。</p> <p>また、市立中央図書館(電話:04-7159-4646)参考室)にはレファレンスサービスをする図書がありますので資料の相談に応じています。</p> <p>なお、立入が制限されている場所もありますので、見学等の際は必ず関係者や関係機関にご確認ください。</p>
<p>(1) 利根運河</p> <p>所在地: 西深井829地 アクセス: 東京野田線運河駅徒歩4分</p> <p>明治時代に開削された江戸川と利根川を結ぶ延長9キロメートルの人工水路で、開削にあたってはオランダ人土木技師のモデルが起用された。現在は市民の憩いの場として、運河水辺公園、運河緑道が整備されている。</p>
<p>(2) 深井城跡</p> <p>所在地: 西深井791 アクセス: 東京野田線運河駅徒歩9分</p> <p>戦国時代の小倉城主高城(なかの)氏の支城で、土塁、空堀跡が整備された。不動明王をまつる不動坊が建てられている。</p>



【特徴】

オープンデータに取り組む特定のテーマ・企画や全庁的な体制や取組方針があるわけではなく、オープンデータ推進所管課の担当者が地道にオープンデータ取組を進めている。

【工夫している点】

公開データ所管課の協力を得るためには、データが何に使われるかが明確になっていることが重要である。そのため、データの具体的な活用方法について説明し、データ提供を受けている。

出所: (株)JMAホールディングス「自治体オープンデータ勉強会」資料を基に作成

事例)「オープンデータ取組方針」の策定

対象となる課題	●オープンデータの取組方針・指針に地方公共団体が取り組む意義や目的などをどのように考えればよいか
---------	--

地方公共団体等	横浜市	人口	3,714,200人
---------	-----	----	------------

【取組方針の策定】

横浜市では、取組方針を「オープンデータを進める基盤づくり」「オープンデータを活用した地域課題解決の仕組みづくり」「オープンデータによる地域経済の活性化」の3つの柱で取りまとめ、ホームページにより広く公表している。

1 オープンデータを進める基盤づくり

平成25年度に協力した、オープンデータの基盤となるシステムの実証実験（総務省）の成果などを活かし、本格的にオープンデータを進めていくための基盤を構築します。

- 統計情報やGISデータのオープンデータ化（26年7月に一部実施）
- オープンデータ推進の基盤となる市ウェブサイトの再構築（26年4月～）
- データカタログサイト「よこはまオープンデータカタログ」の整備（26年7月に開設）
- 県内市町村でオープンデータを広域的に推進するための連携の仕組みづくり（26年6月～）

2 オープンデータを活用した地域課題解決の仕組みづくり

平成25年度の「かなざわ育なび.net」の開設、旧東海道保土ヶ谷宿、戸塚宿の観光まちづくりや旭区左近山団地での防災・減災の取組などの成果を活かし、民間の取組と連携しながら、オープンデータを活用して地域の価値を創造し、課題を解決するための仕組みをつくりまします。

- インターネットを活用して地域課題を「みえる化」し、市民と共に解決するためのICTプラットフォーム「ローカルグッド」（ウェブサイト）への協力（26年6月～）
- 「横浜会議」を活用したフューチャーセッションの開催（26年7月～）
- 「かなざわ育なび.net」の機能拡充（26年7月～）

3 オープンデータによる地域経済の活性化

平成25年度に日本マイクロソフト（株）などと進めてきた、オープンデータを活用した地域経済活性化に向けた取組を踏まえて、市内企業の経営改善やビジネスチャンスの創出に繋がるよう取組を拡充します。

- 企業ニーズの把握によるオープンデータの利活用の検討開始（26年7月～）
- 横浜信用金庫とのオープンデータ活用のための研究プロジェクト（市内企業のニーズや課題に基づくオープンデータの利活用）の開始（26年7月～）
- 国土交通省の事業に協力し、不動産物件情報に都市計画や防災に関する情報を重ね合わせた、消費者に便利な不動産情報システム（試行版）の構築（26年6月～）
- 県内自治体と連携し、2020年東京オリンピック・パラリンピックをターゲットにした「海外からのお客様へのおもてなし」のためのアプリやサービスの開発

出所：横浜市ホームページ

(<http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/opendata/20140624.pdf>)

事例) ホームページを活用したオープンデータの取組方針の公開

対象となる課題	●オープンデータの取組方針・指針に地方公共団体が取り組む意義や目的などをどのように考えればよいか
---------	--

地方公共団体等	水戸市	人口	273,053 人
---------	-----	----	-----------

【ホームページで市の取組の方向性を掲載】

水戸市では、市のホームページ上でオープンデータの取組の推進を宣言しており、その中で、産学官連携、イベント開催等の市の取組の方向性を示している。

水戸市の取組みは？

1 できる限りデータをオープンデータ化する取組みを進めます。

水戸市が所有するデータについて、可能なものからオープンデータとして公開を進めます。最初はPDF等加工が困難なデータも含まれますが、まずはデータを公開することからスタートしてまいります。

データ公開のためのサイト「(仮称) ひとオープンデータライブラリー」を開設します(11月中予定です。)

2 産学官の連携を図りながらオープンデータを進めます。

東京大学空間情報科学研究センター「次世代社会基盤情報」寄附研究部門及び一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会が主催するオープンデータチャレンジに参加し、産学官連携によりオープンデータの推進を図ります。

3 市民のみなさんが参加できるイベントを開催します。

オープンデータについて市民のみなさんと考えるイベントを開催し、官民協働によるオープンデータの取組みを推進します。

4 アプリコンテストを開催を予定しております。

今年度、アプリコンテストを開催を計画しております。このコンテストにより、水戸のまちの活性化に役立つアプリ開発を支援してまいります。(詳細は決まり次第ホームページに掲載します。)

今後の展開にご期待ください。

出所：水戸市ホームページ

(<http://www.city.mito.lg.jp/000271/000273/000280/000321/p014148.html>)